

第4回島田市審議会 会議要録

1 日時

平成29年2月8日(水) 19:00~20:30

2 場所

島田市役所 4F 第三委員会室(南・北)

3 出席者

委員：朝比奈委員、石間委員、大石委員、小倉委員、掛澤委員、五條委員、佐久間委員、白瀧委員、鈴木委員、園部委員、谷委員、名取委員、森委員(五十音順)

事務局：牛尾理事、鈴木市長戦略部長、田中戦略推進課長、駒形係長、小野係長、大和田、福山、太田原

ランドブレイン株式会社 植野

傍聴者 1名

4 内容

(資料確認)

- ・事務局より事前配付(次第、資料1~6、参考)

(会長あいさつ)

- ・前回の審議会では、いろいろとご意見をいただき感謝している。いただいたご意見を基に、事務局と打ち合わせを行い、基本理念と将来像を作成した。
- ・100パーセント、皆さんの満足のいくものになったのかどうか不安はあるが、ご意見を最大限盛り込んだ基本理念と将来像となっているので、本日の議題「施策の大綱と柱」についても忌憚のないご意見をいただきたい。
- ・1月に自治会サミットを開催し、好評であった。基調講演では、鹿児島市の自治公民館長(豊重哲郎氏)から、自主財源を作り出す事例の紹介もあった。真似するのは難しいと思うこともあったかもしれないが、今後の自治会運営、地域活性化の参考なるアイデアが沢山あった。サミットに参加できなかった方も記録等を見て、参考にいただければと思う。

(報告)

(1)「基本理念」「将来像」について

資料4に基づき、駒形係長より説明、確認

【質疑応答】

- A 委員：全体的にまとまっており、よくできていると思う。資料4、2.将来像(将来像に込めた想いの文中)「一人ひとりが島田で人生を描いていけるまちづくり」について、「島田で」は要らないのではないか。「島田に住んだことがない方」という表現も否定的な感

じがするので、「島田に初めて住む方」としてはどうか。

会 長：より明快な、否定的にならない表現の方がいいということだが、まだ修正は可能か。

事 務 局：ご意見を踏まえ、修正を検討したい。

(2) 平成28年度島田市総合計画市民意識調査の結果について
資料1、2に基づき、福山書記より説明

【質疑応答】

会 長：回収率はやや低いですが、昨今の郵送調査ではこの程度の回収率だと思う。2、3ポイント程度は誤差の範囲と考えればよく、乱高下したり、下降傾向が続いたりという場合は、注意して見た方がよいということになる。

副 会 長：自治基本条例の設問は、条例を持つべきか・持つべきでないかの判断を、果たして回答者ができたのかどうかと感じた。条例を持つことの、メリット・デメリットなどが理解できる、わかりやすいアンケートが必要だったのかと思った。

会 長：内容的に市民にはまだ浸透していないかもしれない。

事 務 局：市でも、そこは課題のところと認識している。市民にどの程度、自治基本条例について議論いただいたものを議案にあげるか、担当課でも悩んでいる状況。
条例の中身はできたが、もっと市民が内容を理解していく必要性を感じている。こうしたアンケート等を通して、自治基本条例について少しでも市民に知っていただき、熟度が上がった段階で、条例を開示していく考えである。

B 委 員：自由意見のまとめも分かりやすく、市民、特に高齢の方々が、真剣に島田のことを考えていることがよく分かった。

C 委 員：自治基本条例について、賛成の率が上がってきていることに驚いた。前回調査との比較があるが、誘導感のある文面が多いので、今回はもう少し考えた方がよい。

事 務 局：今後の資料作成の際には気をつけていきたい。

会 長：P146など、親切心で丁寧な説明としたつもりだが、結果、誘導的になってしまったりすることは、しばしばある。資料2について、また何かあれば、事務局まで意見を寄せていただけるとありがたい。

(3) 今後のスケジュールについて

資料3に基づき、大和田主査より説明

【質疑応答】

・特になし

(議題)

(1) 基本構想(案)について

資料4、5、6に基づき、大和田主査より説明

【質疑応答】

D 委員：役所の役割として、担当分けは必要なのだろうが、単体で取り組むと終息してしまうことでも、組み合わせることで相乗効果が生まれ、一歩進んだことができることもある。縦割りも必要だが、民間から見るともったいないと思うことがある。計画性をもって取り組む上では難しいのかもしれないが、複数の部局で相乗効果を生んでいくような考え方も盛り込んでいただけるとよい。

事務局：資料6の表が縦割りのイメージを与えてしまったかもしれない。縦割り意識ではなく、このような柱を考えたときに、どのような課が関連してくるかを整理するために作成したもの。縦割りではなく、役所が一体となって取組んでいくことを理解いただけるような表現にしたい。

A 委員：縦割り、同じ役職、同性での議論だと、思考に偏りが出る。役所内でいろいろな協議をする際、話し合いをしたメンバーが多様であったかが重要。若い職員、女性など、多様な意見を集めるために、多様な立場の人を集めて協議することが、慣習になるとよい。また、そういった仕組みができているかを管理する部署があるとよい。

事務局：市としても、そのような改革をしていこうと、今年度から大きく組織を変えた部分がある。新たに経営管理課ができた。客観的に役所や市全体を見る部署。下から積み上げる方法で議論もしている。皆で話し合う機会を増やす努力をしているところである。

E 委員：冊子にしたとき、() 書きはなくなるのか。() 書きがなくなると、「福祉」が表にでてこない。「福祉」は市民も重視しているところなので、福祉もあることが市民に分かる方がよい。

事務局：委員会の委員からも意見があった。「安全・安心」＝「防災・健康・福祉」とした方が分かりやすいという意見だった。策定委員会の意見、審議会の意見を踏まえて再度検討したい。

F 委員：ハードからソフトへ、ということがよく分かる。次期計画は、攻めていくものにするのか、今のものを充実していくのか。アンケート結果をみると、『働く場所が多い』の「特にそう思う」、「そう思う」の割合が低い。大綱をみると、1安全・安心、2子育て・教育と、ソフトが先にあるが、大綱の2と3を入れ替えて、働く場所があり、住みよいまちを目指していくことが、もう少し見えてもいいと思う。

G 委員：総合戦略との関係もある。安全・安心が第一というのはよいが、総合戦略の体系との連動も考えた方が分かりやすくよいのではないか。10年後には、ほとんどの車が自動運転で走っているといったように、ICTの進化とともに、日常生活もすごく変わっているように思う。今の時点ですべて予想するのは難しいが、将来の生活がどのように変わるのかがイメージできるものが加えられるとよい。

P34、(6)「基板」は「基盤」に修正だろう。

P35、(7)に、『「島田市」を国内外に広くPRし、更なる認知度を高めていきます。』

『・島田を好きになり知ってもらう（シティプロモーション、情報発信）』とあるが、行財政ではないと思う。(5) 歴史・文化・地域の方が合うのではないか。

事務局：検討させてもらいたい。

計画期間を8年間としているが、現状のICTの進化などを見ていると、5年先ですら読むことが難しいと思っているが、現段階で表現し得る範囲でつくっていきたい。

副会長：大綱の箇条書き（例：安全・安心な生活を守るまちづくり）と、施策の柱の内容がどのようにリンクしているか分かりにくい。現計画のように、大綱、文章、施策の柱という構成のほうが分かりやすい。市民にわかりやすいものにすべき。

事務局：市民の皆さんに記憶してもらえそうな、短くて分かりやすい表現がいいのではないかという意見があり、このような構成になった。分かりやすさを補足するため、目標を加えた。市民の皆さんに分かりやすく、覚えてもらえるように、表現を工夫したい。

副会長：大綱と目標を設定したのはいいと思う。箇条書きとするなら、前に○印や☆印を付けた方が見やすいのではないか。

そもそも大綱とは何かと思い、他都市の例を調べてみたところ、日本一を目指すという文章があった。特色を出すのに、「〇〇日本一」といったフレーズを使うのも、インパクトがあって、分かりやすく良いと思った。

事務局：P32～35の構成についてのご指摘だと思う。より分かりやすくなるよう検討したい。

インパクトに関する部分で、〇〇日本一という表現ができないかという議論はよくあることで、現案で「日本一」という表現は具体的には出ていないが、この計画が第一に目指すところとして、日本一安心・安全なまちにしていく、というのは背景に持つ

ている。どのように表に出していくか検討したい。

会 長：資料5と、資料6のP32～35の関連が分かりにくい、というご意見だと思う。分かりやすくした方がよい、というのは同感である。

C 委 員：資料5の施策の柱に付いている（ ）表示は、無くす説明だったが、あった方が、何をするのかは分かりやすいと思う。（ ）は削除しなくてもよいのではないか。

会 長：先程、「福祉」が大切だという意見もあった。例えば「社会的包摂」という、一般の方には分かりにくい表現が使われることもあるが、現案の記載なら全て理解はできると思う。

D 委 員：P31大綱の図は、1から7まで手をつながせて「サークル」、「循環」のような表現を加えてはどうか。

資料5を見ていて、現在の大綱と比べ、新しいことが全く加わっていないように思った。将来を見据えた、社会動向を踏まえた何かを加えた方がよい。

会 長：「何を」というと難しいが、殻を破って、新しい一歩を、というような、意気込みは表せるのではないか。

事 務 局：大綱には、行政としてやるべきことは全て含めることを前提としている。基本計画には、直接的、具体的な表現が出てくる。基本計画を検討する中で、ここに力を入れていく、こういったまちを目指すという部分が、もう少し分かりやすい基本構想にしていきたい。

会 長：今いただいたご意見を踏まえて基本構想原案を作っていただきたい。
次回も基本構想について審議する時間を持ちたい。

(その他 事務局より)

- ・次回審議会開催について(3月23日(木)19時～予定)
- ・基本構想について、またお気づきの点がありましたら、ご意見ください。

(委員より要請事項)

- ・次々回までの予定が分かりしだい、連絡いただきたい。(⇒決まり次第、連絡とする)
- ・今日の議題は、大綱中心だったが、大綱より前の部分は、審議しないのか。(⇒次回の議題に盛り込む予定)

20:30 会議終了